

第 2 回 理 事 会 議 事 録

1. 開催日時 平成 28 年 7 月 11 日 (月) 17 時 00 分～18 時 30 分
1. 開催場所 東京国際フォーラム G502
1. 現在理事数 24 名
出席理事数 22 名
- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|
| 理 事 長 | 吉村 博邦 | | | | | | |
| 副理事長 | 松原 謙二 | 山下 英俊 | | | | | |
| 理 事 | 市川 智彦 | 井戸 敏三 | 稲垣 暢也 | 岩本 幸英 | 遠藤 久夫 | | |
| | 神野 正博 | 神庭 重信 | 北川 昌伸 | 木村 壯介 | 桐野 高明 | | |
| | 國土 典宏 | 小林誠一郎 | 寺野 彰 | 羽鳥 裕 | 花井 十伍 | | |
| | 邊見 公雄 | 本田 浩 | 森 隆夫 | 渡辺 毅 | | | |
- (五十音順)
1. 現在監事数 3 名
出席監事数 3 名
- | | | | | | |
|--|------|-------|------|--|--|
| | 今村 聡 | 寺本 民生 | 山口 徹 | | |
|--|------|-------|------|--|--|
1. 事務局 事務局長 小嶋 照郎
- 欠席理事数 2 名
- | | | | | | |
|-----|-------|-------|--|--|--|
| 理 事 | 豊田 郁子 | 柳田 素子 | | | |
|-----|-------|-------|--|--|--|

議事次第

I. 第 1 回理事会 (7 月 4 日開催) 議事録 (未定稿) の確認

II. 協議事項

1. 機構の現状と課題について
2. 機構の基本的な方向性について
3. 人事について
4. 今後の会議予定
5. その他

17時00分、定刻に至り、理事長より挨拶の後、出席理事数及び委任状の確認があり本理事会の成立を宣言し議事を開始した。

I. 第1回理事会（7月4日開催）議事録（未定稿）の確認 【参考資料1】

吉村理事長より、平成28年7月4日（月）に開催された第1回理事会の未定稿の議事録（案）が参考資料として提出され、その内容について意見がある際には連絡をいただくこととし、監事の確認を経たうえで正式な議事録として提出する旨が報告された。

II. 協議事項

1. 機構の現状と課題について 【資料1】

吉村理事長より、機構の現状と課題について、理事長私案資料の“専門医制度の現状と課題”に沿って、専門医制度の歴史から始まり、厚生労働省による“専門医の広告開示”（平成14年）から、同省に設置された“専門医の在り方に関する検討会”の最終報告書（平成25年）によって日本専門医機構が平成26年に設立された経緯が説明された。

更に設立後の実績経過と今後の問題点等の課題が示されるとともに、理事構成はオールジャパンの体制となっており、意思決定の透明化を図るとともに、機構の役割案、社員との関係案、財務状況の緊急性などについても説明がなされた。

機構の基本姿勢・役割・社員との関係、医師の偏在について各理事からも活発な意見が出され、資料について一部誤解の生じる文言を修正することとした。

2. 機構の基本的な方向性について

井戸理事より専門医制度に対する意見書が提出され説明がなされた。また、各理事より今後の機構の基本的な方向性について、今までは各学会と合意のうえで制度を決めてきたが厳格になりすぎたので、今後は基本的なことは機構が決定し、その他は学会と連携しながらフレキシブルにすることや、学会の作った制度を機構が認定するというような役割の変更が必要ではないかとの意見が出された。

それに対し、機構は中立した第三者機関であることや、国民から見て学会ではなく機構が専門性を保証していることが大切であるとの意見も出され、今後は理事会が社員及び各学会とも協議しながら、透明性を持って機構を運営していくことが必要であるとされた。

理事より、7月中に今後の方向性を示さなくてはならない学会もあるので、早急に議論の場を設置してほしいとの要望があった。また、既に昨年度より開始されている既存の専門医の更新や専攻医の雇用の問題、非専門医の取り扱いや総合診療についてもどのような方向にするかとの質問が出され、吉村理事長がこちらも含めて7月中に方向性を示したいと発言された。

理事長私案については、機構の姿勢として理事会で概ね理解されたということで、理事会後の記者会見で発表することとなった。

3. 人事について

吉村理事長より、各理事から希望する委員会のアンケートを取っているが、まだ半数が返却され

ておらず、総務、広報、財務の緊急を要する委員会については、理事長一任とのことも含めて、早期に協議していくこととなった。


4. 今後の会議予定


理事より、理事会の開始時間を変更してほしいとの意見が出された。また理事会で全てを決めるのは非常に大変なので、部会を作り議論したものを理事会で審議するのはいかがかとの意見が出され、吉村理事長より検討する旨が回答された。


7月20日（水）に基本18領域との連携会議を開催し、その後、専門医制度を精査する場と理事会を開催する予定であることが報告された。また、7月25日（月）に社員総会を開催し、必要があればその後理事会を開催する予定であることが報告された。


以上をもって、本日予定された議事が終了し、この議事内容を明確にするため議事録署名人として
監事が指名され、19時30分に散会した。

平成28年7月11日

理事長 吉村博邦 
吉村 博邦

監事 今村聡 
今村 聡

監事 寺本民生 
寺本 民生

監事 山口徹 
山口 徹